

復命書

2012年 6月 5日

新政会 代表
望月 厚司 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	平成24年5月27日(日)~29日(月)	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	弘前市主催「分権時代の自治体経営フォーラム」 マニフェスト大賞議会部門優秀賞・事例報告 六ヶ所村・原子燃料サイクル施設
	(2) 対 応 者	葛西紀之・弘前市長 目黒章三郎・会津若松市議会議長 千葉茂明・月刊ガバナンス編集長 北川正恭・早稲田大学マニフェスト研究所所長
3 目 的	第6回マニフェスト大賞の首長部門でグランプリに選ばれた青森県弘前市長に、先進的な自治体マネジメントについて伺う。又その議会部門で優秀賞を受賞した三沢市議会・会派“みさわ未来”の議会改革の取り組みや、八戸市議による首長マニフェストの評価等について伺う。又、エネルギー対策が問われている今、原子燃料サイクル施設の現場視察をする。	
4 内 容	<p>(調査事項・調査結果を具体的に)</p> <p>基調講演</p> <p>『本格的な分権時代に挑む~マニフェストで地方の再生~』 北川正恭氏 早稲田大学マニフェスト研究所所長</p> <p>かつて分権を叫ぶ時代はあったが、さまざまな歴史を経て、今こそ、本格的な分権時代構築の時だ。歴史的には、朝鮮戦争で軍権が出来なかったこともあるが、スタートは、農業国から工業国家へ⇒中央にお金を集める仕組みを作った。富岡製糸工場など⇒明治政府となり中央集権化⇒その後の自由民権運動の展開⇒昭和の大合併⇒70年代、東海道メガポリス・高度成長へ⇒地方の時代へ</p> <p>その後、地方分権推進法が出来、分権は進んでも、社会慣習の</p>	

	<p>中でさまざまな課題がでてきた。ガバナンスは、統治は、確かに変わった。三位一体改革や歳入（交付税へ）の干渉等なかなか進まない。</p>
5 成果・市政への反映等	